



## 熊野古道の名に恥じめよう語り部研修に励む～語り部の会 熊野古道中辺路～

1977年に文化庁の「歴史の道保存整備事業」として、熊野街道が指定されたことがきっかけで、熊野街道が中山道や奥の細道に匹敵するほどの歴史ある道だと改めて認識したといえます。その翌年、「語り部の会 熊野古道中辺路（以下、語り部の会）」の前身となる歴史勉強会『近野史探会』が発足し、熊野街道の歴史の研究を始めました。そこから約35年、「語り部の会」三代目会長の安江樹郎さんに現在の活動のお話をうかがいました。



**団体活動を模索して**  
1999年に開催された「南紀熊野体験博」の時に、旅行者から歴史の道を案内する企画が舞い込んできました。その頃から、歴史研究だけでなく語り部の活動が始まり、団体名称を「漂探（ひょうたん）古道」と変更し、現在の活動の形ができました。

2004年に熊野街道が「熊野古道」として世界遺産に登録され、その翌年、団体をNPO法人化し活動していましたが、事務量の軽減や自由に活動をしたという意向から、4年前にNPO法人を解散し、任意団体「語り部の会熊野古道中辺路」として歩み始めました。

現在は18名、40～79歳のメンバーで構成され、熊野古道を語り部イベントをまわし、経験を積み上げるようにしています。そして、ベテランがサポートしながら歩き回っています。季節の良い時期は、1日に3つ4つとイベントが重なることもあり、大忙しです。



代表の安江樹郎（やすえたつろう）さん

**地域のパワーを得て**  
地元の方々に向けて年に6回「熊野古道を歩こう」イベントを企画しています。「常に身近に感じ続けることで、自分たちの住んでいる地域をもっと好きになり、熊野古道をさらにPRしてもらえるといいです」

**熊野古道は永遠に**  
2009年には、年間のべ2万4千人をガイドしました。新型コロナウイルスが蔓延する前は、年間6～8千人ほど。ここ1～2年でも2～3千人ほどの参加

**イベントは共同研修の場**  
「本番」研修の場とあってしまうと、参加された方に申し訳ないのですが、新人の育成の場として、こちらも勉強させていただいています。経験の浅いメンバーが主体となり、イベントをまわし、経験を積み上げるようにしています。そして、ベテランがサポート

**ヒヤリ・ハットを共有**  
イベント以外にも月3回、ミーティングを兼ねて研修を積み重ねているそうです。史跡の勉強はもちろん、語り部をしている時にヒヤッとしたことやハットしたことをみんなで共有して、学び合います。

**ね。地域のみなさんの力に勝るものはないです」と安江さんは期待を込めてい**  
また、語り部ツアーに参加者に、地域を知ってもらう工夫として、イベントの昼食はその土地のお弁当をチョイスしているといえます。「お弁当を楽しみに参加される方もたくさんいる」と同会の女性メンバーからのアドバイスがあったと微笑んでいます。



今までに研修などで使用した資料

**今年も歩こう熊野古道 令和4年1/23(日)開催**  
**第5回 大辺路・長井坂を歩く 10.5km**  
 集合 周参見海水浴場駐車場 (午前 8:15 受付)  
 8:30 (ウォークスタート) ~ 9:00 馬鞍坂登り口 ~ 10:00 西浜入口 ~ タオの峠 ~ 11:00 和深川神社 (昼食) ~ 11:30 出発 ~ 長井坂西登り口 ~ 道の駅への分岐 ~ 13:40 茶屋の段 ~ 長井坂東登り口 ~ 14:10 見老津駅着 ~ 14:35 発 紀伊田辺行き列車に乗り乗車 == 周参見着 14:44 ☆片道 200円  
 持ち物 歩きやすい靴・カッパ・飲み物・軽い行動食・杖の必要な方は会の竹杖をご利用ください。  
 参加費用 3,000円 (弁当、お茶付)  
 申込 語り部の会 熊野古道中辺路 締切 1/18 (火)  
 TEL 0739-64-1350 (受付 10～12時)  
 FAX 0739-64-1352

## コロナに負けるな NPO！ わかやま SDGs パートナーシップ 基金へのご寄附のお願い

国連で採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成には、世界のあらゆる国、あらゆる主体が参画することが求められています。ここ和歌山の地で、SDGs 達成に向けた取り組みを進める産・官・学・民の連携を進めるための基金「わかやま SDGs パートナーシップ基金」を発足しました。  
今年度は、今なお影響が色濃く残る「新型コロナウイルス」に負けず活動を続ける NPO の支援に取り組めます。



- ここがポイント！**
- ▶ 地域の諸課題は時とともに移り変わっていきます。SDGsの17の目標のベースに**年度ごとにテーマを設定し**、該当する活動を支援します。
  - ▶ 本基金による支援先となる NPO 等に限らず、**本基金に携わるみなさまによる SDGs 達成に向けた活動**を、「わかつく」(わかやま新報隔週金曜連載)や YouTube などの媒体で発信します。

**支援について**

- ▶ NPO・ボランティア団体から支援のご要望を募り、わかやま NPO センターが設置する審査委員会を経て、優先度合いが高いと判断された団体に対して支援を実施します。
- ▶ 支援は、個人・事業所等からのご寄附を原資にして、資金支援 (助成等)、非資金支援 (講師や専門家の派遣、助言、情報発信等) の2通りを実施します。

**ご寄附の方法**

- ▶ 1口3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込 (振込手数料はご負担ください)、クレジット決済 (振込手数料はかかりません) がご利用いただけます。
- ▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。  
クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます。  
<http://www.wnc.jp/sdgs/>

**【運営】**  
認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12  
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

